令和８年10月

お　客　さ　ま　各　位

北　海　道　信　用　金　庫

「令和８年度　地域密着型金融推進計画の上期取組状況について」

当金庫は、地域経済における課題が多様化している状況下、地域専門の金融機関として、全力で「地域を守る」を合言葉に地域の皆さまへの支援力の強化を最重要課題と捉え業務にあたっております。

そのような中、今年度も皆さまから親しまれ、信頼される地域専門金融機関（『アワーズしんきんバンクの実現』）を目指し、「地域密着型金融」を推進してまいりました。

今年度は、3か年経営計画『輝く未来へ、変革の実現』の最終年度となります。地域の輝く未来のために、役職員一同、心を一つに「ＯＮＥ　ＴＥＡＭ(ワンチーム)」となって、地域社会並びに地域経済活性化に資する取組みについて、より一層、積極的に取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、各項目の詳細につきましては、別添の「令和８年度 地域密着型金融推進計画」をご参照ください。

【主な取組実績】

１．コンサルティング機能の発揮

（１）ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

〇創業・新事業支援の強化

創業・新事業支援に係る補助金や各種施策など、㈱しんきん北海道金融センターにて情報提供を行い、相談に応じております。

なお、創業・新事業支援融資の上期取扱実績は、82件、6億38百万円となりました。

〇成長段階における支援・生産性向上支援の強化

設備導入や脱炭素対応の取組みを支援するため、㈱NEXYZ.と提携し、設備導入ニーズのある取引先事業者の顧客紹介を開始いたしました。

また、各種ビジネスマッチング事業への積極的な参画により、課題解決支援に取り組んでおります。

〇経営改善支援の強化

金融円滑化対応先や経営改善支援先に対し、モニタリング・ヒアリングの実施や経営実態及び財務内容、経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援を行い、4先のランクアップを実現しました。

また、外部専門家派遣事業を12先に活用いたしました。

〇事業再生支援の強化

当金庫がメイン金融機関であるお客さまにおいて、北海道中小企業活性化協議会の支援を受けている先は 2 先です。また、地域経済活性化支援機構（REVIC）による特定支援中の先は1先です。

〇事業承継支援の強化

過年度からの継続案件を含め、事業承継相談 35 件の対応を行いました。相談企業には、㈱しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先等が訪問し、対応しております。

（２）円滑な資金供給の促進

担保･保証に過度に依存しない融資を心掛け対応しております。

また、取引先の実態を把握・分析する手段として、事業性評価シートの作成を行っております。

２．地域の面的再生や地域産業の下支えへの積極的な参画

本店ビル１階エントランスを開放し、新篠津村商工会による観光等ＰＲ活動及び地元特産品の販売会に協力いたしました。

また、地域貢献活動の一環として、各地域の行事等に積極的参加・協力支援を行っております。

３．お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信

北海道信用金庫ビジネスレポート「市町村のご紹介コーナー」にて、営業区域内の喜茂別町・仁木町を掲載いたしました。

４．企業の社会的責任（ＣＳＲ）に根ざした経営

金融教育の一環として、毎年、小中学校等の職場見学を受入しており、５月に中学生７名（小樽支店）、７月に高校生２名（当別支店）、９月に高校生２名（野幌支店）を受入いたしました。また、講師を担当する職員のスキルアップを目的として、全国信用金庫協会主催「金融教育推進セミナー」に６名が参加いたしました。今後も見学依頼があった場合は、積極的に対応いたします。

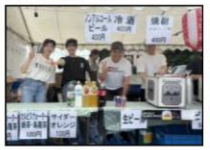
以　上

令和８年度　地域密着型金融推進計画

1．コンサルティング機能の発揮
（1）ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮
創業・新事業支援の強化
成長段階における支援・生産性向上支援の強化
経営改善支援の強化
事業再生支援の強化
事業承継支援の強化
（2）円滑な資金供給の促進
2．地域の面的再生や地域産業の下支えへの積極的な参画
3．お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信
4．企業の社会的責任（CSR）に根ざした経営

項　　目	計画（取組方針）	進捗状況
1．コンサルティング機能の発揮		
（1）ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮		
創業・新事業支援の強化	①情報の提供、適切な支援機能の強化	①創業・新事業支援に係る補助金や各種施策など、㈱しんきん北海道金融センターにて情報提供を行い、相談に応じております。 創業・新事業支援融資の全店取扱実績（上期）…82件、6億38百万円
成長段階における支援・生産性向上支援の強化	①経営相談等の機能強化及び情報提供機能の一層の強化 ②新たな事業展開、生産性の向上に資する支援機能の強化 ③DX支援等 ④ビジネスマッチング支援等  （ビジネスマッチング広場）  （Mikatano（ミカタノ）シリーズ）  （個別商談会）	①認定経営革新等支援機関として、各種補助金制度の活用に向けて取り組んでおります。 ②新事業進出補助金、ものづくり補助金及び省力化投資補助金では、5先（うち採択2先）のお客さまの申請手続きを支援いたしました。 ・取引先の生産性向上及び商品開発時の課題解決を目的とし、包括連携協定先である北海道立総合研究機構での営業店長向け視察見学会を6月に2回実施いたしました。 ・コスト削減や脱炭素対応の取組みを支援するため、ミツウロコグリーンエネルギー㈱と提携し、電力切替や脱炭素に向けた各種取組みニーズのある取引先事業者の顧客紹介を行っております。 ・設備導入や脱炭素対応の取組みを支援するため、㈱NEXYZ. と提携し、設備導入ニーズのある取引先事業者の顧客紹介を行っております。 ③資金管理の効率化、電子帳簿保存法・インボイス制度への対応、社内業務のデジタル化やペーパーレス化などの業務デジタル化・ＤＸ等、取引先事業者の様々な課題解決を支援するために「北海道信用金庫　Ｍｉｋａｔａｎｏ（ミカタノ）シリーズ」を取り扱っております。 ・北海道経済産業局より案内があったDX支援につながる省力化投資補助金（一般型）の公募について、全店へ情報提供いたしました。また、補助金導入検討先に対して、経済産業局の当金庫営業エリア担当者と、当金庫職員（営業店・本部）が合同でヒアリングを行い、支援を継続しています。 ・上期の当金庫ホームページ「補助金助成金かんたん自動診断」利用による相談実績は、4件でした。 ④信金中央金庫が制作する「2026年度優待カタログ」に、取引先4社の商品の掲載が決定いたしました。 ・三越伊勢丹が制作する「旬彩カタログ しんきんのつなぐ力」（2026年度版）に、取引先3社の商品の掲載が決定いたしました。 ・「北洋銀行ものづくりサステナフェア2026」(7月22日)に、取引先1社が出展いたしました。 ・「東急百貨店との個別商談会」(9月3日)に、取引先2社が参加いたしました。 ・北海道信用金庫ビジネスレポート「北海道信用金庫ビジネスマッチング広場」に取引先6社を掲載いたしました。 ・しんきんコネクト（信金中央金庫が運営する信金業界のビジネスマッチングサイト）の上期の新規登録先は、6先（通算122先）でした。

項　　目	計画（取組方針）	進捗状況
経営改善支援の強化		
	①認定経営革新等支援機関としての経営改善支援等の実効性向上 ②地域金融円滑化に関する恒久的措置への対応 ③外部専門家との連携強化と積極的な活用	①認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携の強化を図っております。 ・経営改善・事業再生支援施策の活用・提案、及び北海道中小企業活性化協議会の経営改善計画策定支援事業・収益力改善支援事業を活用し、実効性の向上を図っております。 ・経営改善計画策定支援等として、経営改善計画策定支援事業を1先、収益力改善支援事業を1先に活用いたしました。 ②金融円滑化対応先や経営改善支援先（129先）に対し、モニタリング・ヒアリングの実施や企業の経営実態及び財務内容、経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援を行っております。 ・経営改善支援先のうち、4先がランクアップいたしました。 ③地域プラットフォームとして、「北海道ビジネス創造連携プラットフォーム」、「北海道中小企業総合支援プラットフォーム」、「道央圏商工会議所ネットワーク」の構成機関になっております。 ・経営サポート会議や専門家派遣事業、よろず支援拠点等の外部機関・外部専門家を活用した支援活動に積極的に取り組んでおります。 ・外部専門家派遣事業を12先に活用いたしました。
事業再生支援の強化		
	①中小企業活性化協議会等の一層の活用 ②RCC・サービサー等との連携 ③事業再生支援機能の強化	①当金庫がメイン金融機関であるお客さまにおいて、北海道中小企業活性化協議会の支援を受けている先は2先です。引き続き、事業再生支援について積極的に取り組んでまいります。 ②地域経済活性化支援機構(REVIC)による特定支援の実施先は1先です。引き続き外部機関等へのアプローチを継続実施してまいります。 ③新たにＤＤＳ等を活用した事業再生支援の取組みはありませんでしたが、引き続き、再生を目指す企業に対し、積極的かつ前向きな支援に取り組んでまいります。
事業承継支援の強化		
	①取引先企業の後継者問題、相続対策への対応   （㈱しんきん北海道金融センター）	①過年度からの継続案件を含め、事業承継相談35件の対応を行いました。相談企業には、㈱しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先等が訪問し、対応しております。 ・上期のＭ＆Ａ成約実績は3件となりました。 ・「事業承継サポートネットワーク」の構成機関として、事業承継に関する地域の現状や課題等を共有しております。また、「事業承継診断シート」を活用し、経営者の承継に向けた意向調査を実施しております。
（２）円滑な資金供給の促進		
	①担保・保証に過度に依存しない融資の徹底 ②事業性評価に基づく円滑な資金供給 ③目利き能力の向上	①担保･保証に過度に依存しない融資を心掛け対応しております。 経営者保証に関するガイドラインの活用による無保証融資　1,458件 ②取引先の実態を把握・分析する手段として、事業性評価シートの作成を行っております。 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高　574先　569億円 ③外部研修は、北海道信用金庫協会主催「目利き力養成講座」に2名が参加いたしました。

項　　目	計画（取組方針）	進捗状況
２．地域の面的再生や地域産業の下支えへの積極的な参画		
	①地域住民及び産学官金労との連携強化 ②地域行事等への積極的参加  （ドリームキッズシティISHIKARI） （新篠津村商工会によるＰＲ活動・特産品販売）  （小樽運河散策路清掃活動） （「信用金庫の日」清掃活動・花いっぱい運動）  （おたる潮まつり） （新しのつ青空まつり） （くっちゃん じゃが祭り）  （北都夏まつり） （とうべつ商工会祭り） （とよひらふれあいまつり）  （夏まつりだ裏参道） （北の酒まつり） （蘭越せせらぎまつり）	①㈱しんきん北海道金融センターが産学官連携支援協議会の委員を務め、「産学官連携支援事業」を支援しております。 ・地域のコワーキングスペースを定期的に訪問し、創業希望者からの経営相談に応じております。 ・石狩商工会議所青年部が主催する職業体験イベント「ドリームキッズシティISHIKARI」に出展し、地域の子どもたちに信用金庫のおしごとを体験してもらいました。（7月19日） ・本店ビル1階エントランスを開放し、新篠津村商工会による観光等ＰＲ活動及び地元特産品の販売会に協力いたしました。（6月29日） ②地域貢献活動の一環として、各地域の行事等に積極的参加・協力支援を行っております。 ・観光都市小樽の魅力向上に寄与するため、金庫役職員総勢78名により「小樽運河散策路清掃活動」を実施いたしました。（6月13日） ・「信用金庫の日」（6月15日）の取組みとして、4か店で店舗周辺の清掃活動を実施しました。また、3か店で「花いっぱい運動」を実施いたしました。 ・小樽市「おたる潮まつり」に、金庫役職員等総勢174名がねりこみの踊り手などで参加いたしました。（7月28日） ・新篠津村「新しのつ青空まつり」に、金庫役職員等総勢51名がパレードなどに参加いたしました。（8月29日） ・その他、地域や商店会の行事等にも参加・協力し、地域の皆さまと交流を図っております。
３．お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信		
	①経営内容・取組等に関する情報発信 ②地域に関する情報発信  （市町村のご紹介コーナー）	①ディスクロージャー誌及びホームページに経営状況を公表し、経営の透明性向上を図っております。 ②北海道信用金庫ビジネスレポート「市町村のご紹介コーナー」にて、営業区域内の喜茂別町・仁木町を掲載いたしました。

項　　目	計画（取組方針）	進捗状況
４．企業の社会的責任（ＣＳＲ）に根ざした経営	①各種セミナーの開催 ②金融経済教育の実施 ③CS向上への取組み ④環境問題への取組強化  （経済講演会）  （小樽商科大学提供講義）  （ベンチャーキッズ支援事業勉強会）  （職場見学）  （個別法律相談会）  （再エネ100%電力供給証明書）	①荻原 博子 氏(経済ジャーナリスト)を講師に迎え、『人生100年時代の生活設計』と題し、北海道信用金庫経済講演会を開催いたしました。(参加者数：497名) ・年金受給予定者を対象とした年金セミナー「年金受取りの基礎知識」を、札幌市で開催いたしました。 ・経営者向け「個別法律相談会」を開催いたしました。 ②小樽商科大学において「商学特講～信用金庫の役割と地域経済活性化」と題し、提供講義(前期2単位)を開催いたしました。 ・各大学からの依頼により、講義に金庫職員を講師として派遣しております。 （6月：北海商科大学、7月：札幌学院大学　講師各1名） ・真狩支店にてベンチャーキッズ支援事業勉強会を行いました。（小学6年生に向け創業体験教育） ・金融教育の一環として、毎年、小中学校等の職場見学を受入しており、5月に中学生7名（小樽支店）、7月に高校生2名（当別支店）、9月に高校生2名（野幌支店）を受入いたしました。また、講師を担当する職員のスキルアップを目的として、全国信用金庫協会主催「金融教育推進セミナー」に6名が参加いたしました。今後も見学依頼があった場合は、積極的に対応いたします。 ・金融経済教育の取組みのため、小樽市教育委員会事務局会にて周知活動を行いました。 ③お客さま満足度調査において、お客様の声アンケート結果及びご意見・ご要望等(106件)を集約し、利用者満足度の向上に取り組んでおります。 ・全営業店に設置している「ご意見メールＢＯＸ」に寄せられたご意見・ご要望等(上期1件)の中で、実現可能なものを経営施策に反映し、利用者満足度の向上に取り組んでおります。 ・高い業務知識と優れた応対能力を持つ職員を認定する制度「ＣＳマイスター」は、令和8年10月1日付で21名を任命しました（9月25日発表）。「ＣＳマイスター」は内部の研修講師等に優先的に指名しており、他の職員の模範・目標となることで、業務担当者全体の能力向上を図っております。 ④二酸化炭素排出量削減に向け、当金庫の「環境自主行動計画」に基づき各種取組みを実践しております。 ・地域のＥＳＧに関する課題の解決に向け、環境対策のための二酸化炭素排出削減や省エネルギーに寄与する事業及び事業所への融資を促進すべく「環境対策応援ローン」を取り扱っております(上期1件実行)。 ・省エネ及び環境配慮への対応として、省エネ対応冷暖房への更新を4店舗実施、ＬＥＤ照明への更新を1店舗実施いたしま した。 ・ＣＯ2削減への取組みとして、再生可能エネルギー100%電力を3店舗に導入しました。 ・お客さま用の販促品等の一部について、環境に配慮した素材（ＦＳＣ認証紙・カーボンオフセット用紙等）を使用しているものを採用しております。